

Interactive **T**raining in **C**ommunication - **J**apan



Volume36 February 2018

II

目 次

Table of Contents

今期のテーマ	1	2017-2018 Theme
ITC-J 会長メッセージ	2	ITC-J President's Message 2017-2018
役員からのメッセージ	3	Message from ITC-J Officers 2017-2018
役員・常任委員会からのメッセージ	4	Messages from Officers & Standing Committees 2017-2018
常任・特別委員会からのメッセージ	5	Message from Standing & Special Committees
第36回 ITC-J 年次大会ご案内	6	Invitation to the 36th Annual Conference
年次大会日程一覧表	7	Conference Program Plan
年次大会プログラム「講演」	8	Guide to Conference Program 'Lecture'
教育セッション一覧表	9~11	Education Sessions
第36回年次大会申込要領	12	Registration
大会申込書	13~14	Registration Form
第36回年次大会準備委員会名簿	15	Annual Conference Committee
大会観光ご案内	16	Information for Sightseeing
エクスカーションのご紹介	17	Information for Excursion
晩餐会 エンターテインメントご案内	18	Information for Banquet & Entertainment
会合・例会プログラム紹介	19	Programs of Council & Club
カウンスル会長会報告	20~21	Comments of Council Presidents
カウンスル・クラブ周年記念報告	22~23	Reports of Anniversary Meetings
「輝く人」紹介	24~25	Introduction of Brilliant Members
ログイン方法 編集後記 上野印刷		How to Log in ITC-J HP Message from Editor
ITC-J 宣誓 ITC-J 声明文		ITC-J Pledge & Mission Statement

ITC-J 第36期テーマ

2017—2018

You Raise Me Up

やさしさと励ましのコミュニケーション

Let us encourage each other with our tender mind.

今期の目標

- ① より良い新組織を構築する
- ② 事務とメールの簡素化
- ③ 社会貢献に目を向ける

Objectives of this term

- ① Construct a better new organization
- ② Streamline the paperwork and correspondence
- ③ Contribute to the society

ITC-J 会長メッセージ

「再生の時を迎えて」 “In the Time of Rebirth”

第36期 ITC-J 会長
西村 みつ子



バッサリ切られたミズナラの木は少しずつ枝を伸ばし、若葉が顔を覗かせ始めました。新名称 Interactive Training in Communication-Japan としての組織の再生です。

昨年11月の前国際会長からのメッセージには「組織の解散とは終焉（しゅうえん）を意味する」と書かれていました。

しかし日本の ITC にはたくましい根幹に豊かな栄養が残っていました。

名称の再変更をはじめとして多難な開墾でしたが、植物の成長を見るように新組織の変化の過程に希望を見出し楽しんでいきます。歴史という根っこを残して下さった先輩会員の方々と現会員の ITC-J 愛と献身に感謝の想いを深くしています。厳しくも温かい助言、何とかしてより良い組織にしたいという大勢の会員の皆様の真摯で深い情熱に、やさしさと励ましにあふれたエネルギーを全身で感じます。

コミュニケーションやリーダーシップを長い年月をかけて学びながら品格を磨き人間力を高め心の友と出会い絆を深める。こんな組織が日本で70年近くも続いてきたことは奇跡かもしれません。時流に遅れまい、若い世代に受け入れられるように変革しなければという焦りとジレンマはまだまだ続くことでしょう。

不易流行という芭蕉の言葉があります。伝えるべきものを残し、変えるべきものを変える。さあ、再生したミズナラの木（期）に耳を当て、木が蓄えた希望の水音をご一緒に聞きましょう。

The 36th President of ITC-J
Mitsuko Nishimura

The oak tree (*Quercus crispula*), which was cut down drastically, has begun to grow branches little by little and young leaves are now coming out. The organization reborn with the new name of Interactive Training in Communication-Japan has started. In November last year, the ex-International President wrote in her message that Dissolution Means “The End”. But in Japan’s ITC, abundant nutrients have been left in its robust trunk.

As seen in additional change of the name, we had a hard time of cultivation, but now I am enjoying the process of change finding hope in it just as we enjoy the growth of plants. I deeply appreciate fore-runners’ dedication which left the root of the history of ITC in Japan and present members’ love and respect for ITC-J. Thanks to the severe and warm advice, sincere and great enthusiasm from so many members trying to make our organization better by all means, I feel energy filled with kindness and encouragement.

Through many years of learning communication and leadership, we have developed personality and humaneness, met real friends and deepened the bond. It might be a miracle that such an organization has continued in Japan for nearly 70 years. Impatience and a dilemma, with hope not to be outdated and to be accepted by young generation, will go on furthermore.

Basho, the poet, told about the principle of immutability and fluidity. We should keep what should be kept and change what should be changed. Now, let’s touch our ears to the reborn oak tree of this new era, and listen together to the sound of hopeful water in the trunk.

役員からのメッセージ

<サポートビューローから>

第一副会長 高橋 和子

サポートビューローには豊富で多様な人材が登録されています。活用したクラブ・カウンスルには1年に1回3,000円の補助金が支給されます。ITC-Jサポートビューロー 高橋和子までお申し込みください。

サポートビューローを活用して

カウンスル No.5 堺東クラブ

第一副会長 長谷川 充子



11月13日(月)東京クラブ佐野千賀子会員を講師にお迎えし、「気の利いたコメントを!」というワークショップを実践しました。

同じカウンスル内の南大阪クラブとの合同例会とし、おかげで当日は総勢60名程の大きな例会となり、有意義な学びの場となりました。合同例会ならではの利点を生かし、ビジネス、プログラムともに役割や費用を分担、すべてに能率良くと心掛けました。クラブやカウンスルの壁を越えて、様々な分野でご活躍の講師をお願いできるサポートビューローの存在はプログラムの幅を広げ、マンネリ化を防ぐ。大変ありがたい助っ人であると実感しました。

カウンスル No.5 大阪クラブ

第一副会長 山田 順子



12月18日(月)淡路・クリスタル神戸・北摂・バイリンガル西条と4つのクラブでご活躍の高山敦子会員にサポートビューローを活用して講演をお願いしました。高山会員は意外にも幼少時代はとても引っ込み思案で、お母様に劇団に入れられ、場に馴染んでくると、スポットライトを浴びるのが面白く、人前に出るのが恥ずかしくなくなったそうです。

シアトルでの世界大会コスモポリタンスピーチコンテストで優勝されたスピーチを日本語でそのうえ大阪弁で披露していただき会場は高山敦子さんに釘づけになり「笑いの渦」でした。その中で言葉の乱れは精神の乱れを引き起こし人と人のコミュニケーションをつなぐ潤滑油は「笑い」であるとのお話が心に残りました。ITCで学び続けることで、どんな場合でも対話に困らない力を身に付けられると締めくくられました。英語版でもお聞きしたかったというお声もありました。

カウンスル No.4 岡山クラブ

第一副会長 中田 昌子



1月11日(木)岡山クラブ1月例会においてITC-Jサポートビューローを活用してひろしまクラブ沖田道子会員に「知るほどに面白い議事録」の教育を行っていただきました。

ロバート議事法を作ったヘンリー・M・ロバートの言葉「法がなく、すべての人間がそれぞれの正しいと考えるところから従って行動する場合には、真の自由は存在しない」から教育は始まりました。

岡山クラブ31名の中でITC-J歴の浅い会員が8名います。今回は誰にでも分かる教育をとお願いをしましたところ沖田会員作成の資料をもとに、スキットやビンゴを織り交ぜながら、全員参加型の教育となりました。沖田会員お手製の「めちゃくちゃロバート」は複雑なことを簡単に説明してあり、めちゃくちゃにならないために「議事法」があるということを実感しました。普段、苦手意識の強い「議事法」にアレルギー反応もなく楽しく学ぶことができました。

役員からのメッセージ

書記 田中 和美

書記を拝命しましておよそ半年が経過しました。書記の任務である議事録作成は可能な限り、早く正確に作成するのをモットーとしています。

私は新組織の立ち上げに直に携わる栄誉と責任を重く受け止める日々です。

今までにカウンスル書記から2件の質問を受け、議会法規役員に確認しましたところ次のような回答をいただきましたので皆さまにもお伝えします。

質問

1

例会議事録は必ず例会で朗読し、会員の承認を得る必要があるか。

例会で朗読しないことも可能です。

方法その① 役員会で承認された議事録を事前に会員にメール送信し例会で承認を得る。

方法その② 事前にメールで承認を得て例会でその後の訂正・付加を受ける。

質問

2

会合議事録の承認後の訂正・削除・挿入の際、日付・訂正者イニシャルも明記する必要があるか。

訂正者イニシャルは明記しません。日付と書記のイニシャルを必ず明記します。

常任委員会からのメッセージ

会則・決議委員会

委員長 加藤 啓子

第36期会則・決議委員会は ITC 国際の解散によって、従来の会則・決議委員会が担っていた任務を遂行するためには、旧 ITC 日本リージョンの会則・常規そのものを見直し、新たに原案を作成するという以前とは全く異なった役割を担うことになりました。

日本は ITC 国際の会則に矛盾しない会則及び常規を採択し、それによって運営されて参りました。しかし、旧 ITC 日本リージョンの組織が ITC-J としてトップとなった現在、クラブ、カウンスル、ITC-J 常任委員会及び役員会が修正案及び決議案を提出するために必要な新会則原案の作成を、会則・決議委員会が行なってまいりました。

原案作成に当たって、組織検討委員会で修正箇所についての討議が行われ、役員会の承認を得て ITC-J 会則・細則（案）が出来上がり、各クラブが審議し、採択するために配信されました。

新会則・細則が会員の皆さまのために、解りやすく、実情に沿った運用しやすいものであることを願っております。

ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

スピーチコンテスト委員会

委員長 後藤 絹代

ITC 国際の解散に伴い、ITC-J スピーチコンテスト委員会は今期の「スピーチコンテスト規則と任務」の再編成に取り組みました。今日までスピーチコンテストが各レベルの重要なプログラムとして継続されているのは詳細な「規則と任務」、そして会員の皆様のご尽力の賜物であると再認識しています。従来の内容を精査、検討し、又昨今の会員、クラブ状況も考慮の上、明確で解り易い内容の編成と、簡潔で見易い表記に心がけ【ITC-J 第36期「スピーチコンテスト規則と任務」】を作成いたしました。

第36回 ITC-J 年次大会のスピーチコンテストに向けて、各レベルのスピーチコンテスト委員会の皆様、各お役目担当の皆様、そして聴衆の皆様のご協力の下に、任務を果すべく務めてまいります。

スピーカーの皆様、ITC-J 活動で培われたコミュニケーション技術の集大成である「あなたのスピーチ」を名古屋でお待ち致しております。

特別委員会からのメッセージ

組織検討委員会

委員長 加藤 正枝



組織検討委員会は昨年末までに3回開催しました。名称については、一度決定した名称を再考することとなり、Interactive Training in Communication-Japan (ITC-J) と決まりました。2018年1月よりこの名前でスタートしております。ロゴも昨年募集されました。

会則・決議委員会から提出された会則原案を検討し、その結果を役員会に提出いたしました。

組織検討委員会からの答申は役員会で検討、そして承認され決定事項は会長から会員にお知らせしています。またウェブサイトには新組織インフォメーションとして掲載されますので、確認をお願いいたします。

この新しい組織の礎がひとつずつ築かれ始めました。今後とも、疑問点、ご意見やご提言などございましたらお届けくださいますようお願いいたします。

皆さまと共により良い組織を作りあげてまいりましょう。



第36回 ITC-J 年次大会ご案内

大会テーマ 「心をひとつに」

開催日：2018年6月4日(月)・5日(火)

会 場：名古屋東急ホテル



大会コーディネーター 伊藤 容子 (No.1 東山)
コ・コーディネーター 岡島 詠子 (No.1 錦)

名称も新たに、生まれ変わった第36回 ITC-J 年次大会が、日本での ITC 発祥の地である名古屋で開催されます。

ITC の理念に基づき、これまで積み上げてきた良き伝統を引き継ぎつつ、原点に還り「同じ目的を持つ仲間と、共に学ぶ楽しさ」が実感できる大会となるよう願っております。

準備委員会では【ALL for ONE】（新生 ITC-J の確立という大きな目的のために ITC-J 会員皆が“心をひとつに”して力を結集する）を合言葉に準備を進めております。「懐かしい友との再会」「新しい出会い」も年次大会の大きな楽しみです。

名古屋の地で「お元気?」「お久しぶり!」「初めまして!」の声があちらこちらで交されるよう、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

《名古屋駅から名古屋東急ホテルへのアクセス》

タクシー：新幹線口から約20分

地下鉄：市営地下鉄東山線「栄」駅下車・12番出口東へ徒歩約5分

* ホテルのシャトルバスはありません



第36回 ITC-J 年次大会日程一覧表

大会前日 6月3日(日)

12:30~12:55	観光受付 <1F ロビー>
13:00~20:15	観光A 名古屋城・か茂免
13:00~19:45	B 有松絞まつり・あつた蓬莱軒本店

大会1日目 6月4日(月)

8:30~ 8:50	派遣員登録受付	Registration for Delegates	3F ロビー
8:30~ 9:50	会員登録受付	Registration for Members	3F ロビー
9:00~ 9:40	派遣員説明会	Briefing for Delegates	3F 錦
10:00~10:30	開 会 式	Opening Ceremony	3F ヴェルサイユ
10:40~12:00	議事会議・選挙	Business Session・Election	3F ヴェルサイユ
12:00~12:50	昼 食	Lunch	3F ルネッサンス・錦 4F 舞
12:20~12:50	登録受付(会員・ゲスト)	Registration for Members & Guests	3F ロビー
13:00~14:30	講 演	Plenary Lecture	3F ヴェルサイユ
14:30~14:35	選挙結果発表	Election Announcement	3F ヴェルサイユ
14:50~16:30	スピーチコンテスト(英語)	Speech Contest (English)	4F 雅
17:05~17:25	晩餐会受付	Registration for Banquet	3F ロビー
17:30	晩餐会開会	Opening	3F ヴェルサイユ
19:30~	就 任 式	Installation	3F ヴェルサイユ
	記念スピーチ	Commemoration Speech	3F ヴェルサイユ
	表 彰	Awards	3F ヴェルサイユ
20:25~20:55	エンターテインメント	Entertainment	3F ヴェルサイユ
21:00	閉 会	Adjournment	3F ヴェルサイユ

大会2日目 6月5日(火)

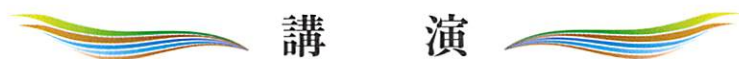
8:30~ 8:50	登録受付 (派遣員・会員・ゲスト)	Registration for Delegates, Members & Guests	3F ロビー
8:50~ 9:50	議事会議	Business Session	3F ヴェルサイユ
10:10~11:40	教育セッション(7部門)	7 Educational Sessions	3F ルネッサンス・錦・桜 4F 舞・調・栄・楓
12:00~12:40	昼 食	Lunch	3F ルネッサンス・錦 4F 舞
12:50~14:50	スピーチコンテスト(日本語)	Speech Contest (Japanese)	3F ヴェルサイユ
14:55~15:15	次回予告・クロージングソート	Announcement for the Next Conference・ Closing Thought	3F ヴェルサイユ
15:20	閉 会	Closing	3F ヴェルサイユ
15:30~15:40	CMT 受付	Registration for CMT	4F ロビー
15:40~17:30	CMT(各部門別)	CMT, Sectionally	4F 雅

第36回 ITC-J 年次大会プログラムのご案内

第一副会長／プログラム・教育委員長 高橋 和子

年次大会は年に一度全国からの会員や友人たちと出会う交流の場であり、多くの学びと、ITC-Jの良さを実感できる機会でもあります。

今回のプログラムは皆様に学びと感動を提供できる内容をと考え、講演と7つの教育セッションをご用意しましたので、どうぞご期待ください。



「生きているって素晴らしい ～命・健康・絆を語る～」

2018年6月4日(月) 13:00～14:30

講師 鎌田 實氏

命とは何か。命がどのようにして始まったか。

命の中には、「伝える」という役割が組み込まれました。

命の設計図、「遺伝子」です。なぜだかはわかりません。

地球に生まれた命は、バトンタッチをしながら進化していきました。

700万年前、アフリカのサバンナに、直立二足歩行をする人類が生まれました。

脳を大きくしながら、知恵で生き抜いてきました。

そのために、複雑な心を作りました。

この心が邪悪な働きをすると、とんでもない犯罪や戦争を引き起こします。

その心を操っている、脳内神経遺伝物質についてお話したいと思います。

命の大切さや、健康の大切さ、絆の大切さを語ります。



プロフィール

東京医科歯科大卒業後、長野県・諏訪中央病院へ赴任。30代で院長となり、潰れかけていた病院を再生させた。「健康づくり運動」を実践し、脳卒中死亡率の高かった長野県は今や長寿日本一、医療費も安い地域となった。

一方1991年より25年間、ベラルーシ共和国の放射能汚染地帯へ100回を越えて医師団を派遣し、約14億円の医薬品を支援してきた。

2004年にはイラク支援を開始。イラクの小児病院へ10年間で4億円の薬を送り、イラク北部の都市アルビルを拠点に、難民キャンプでの診察を続けている。

東北の被災者支援にもいち早く取り組み、「がんばらない」「1%はだれかのために」と言いながら、多方面で常に100%以上の精力的な活動を行っている。

教育セッション一覧表

6月5日(火) 10:10~11:40

講師紹介 ①プロフィール ②内容

A

蓄音器の魅力 音で辿る録音の歴史



ふじもり あきら
藤森 朗 氏

- ①1964年東京生まれ。[蓄音機の會] 主宰。欧州修業時代に現地で蓄音機の響きに深い感銘を受けてから蒐集を始め、SP盤は2,000枚を超える。2007年にはNHK [美の壺] File.91「蓄音機」に出演、翌年には東京都庭園美術館で蓄音機ミニ・コンサートを開催後、自主企画の他、2016年から「ポータブル蓄音器によるレコードコンサート」を枝香庵 Flat (銀座) やライティングハウス TOKYO (亀戸) 等で始め、各地で蓄音機の魅力を伝えている。株式会社今朝代表取締役、すき焼今朝五代目主人。
- ②今ではデータをダウンロードしてイヤホンで手軽に音楽を聴く時代となりましたが、一昔前まではLPレコードがあり、更に遡るとSPレコードまで再生音楽を辿ることができます。このSPレコードを再生する蓄音機は雑音ばかりの骨董品だと思われがちですが、実はかなり臨場感のある音が響きます。今でも現役で動く楽器だと考えてもおかしくありません。およそ120年前から1940年代までの録音の歴史を辿ると共に、是非、この機会にアコースティックな本物の音を聴いてみませんか？

B

Session held in English 人をつなぐ、次世代につなぐ エコツーリズム

Ecotourism
connects people and passes
on to the next generation



たかやま まさる
高山 傑 氏
Mr. Masaru Takayama

- ①Graduated from Humboldt State University, California. Multi-Stakeholder Advisory Committee Member of UN 10 YFP Sustainable Tourism Programme. Making the most of the experiences of having visited to more than 700 cities in around 60 countries, developed an international network and founded the Asian Ecotourism Network. The owner of “Shun-yo-so”, a registered national tangible cultural property
- ②観光立国を目指す日本。近年の国際観光化と飛躍的な訪日観光客増加は、地域の経済や社会の活性化をもたらす一方で治安の問題等基準や規範がない観光地の質を悪化させています。観光はこれまで旅行会社や役所などが推進してきましたが、今こそ地域創生に関わる多用な産業の参加を促し、地域目線での枠組み作りとしてエコツーリズムが求められているのです。
- 活動の一環として、文化や風習を後世につなごうと地域に密着した形で国登録有形文化財「春陽荘」(淡路島)を再生しました。現在、国際観光資源として活用しています。
- 人をつながり地域の活性化や自然保護につながる国際基準を踏まえた「エコツーリズム」という考え方を皆で学んでみませんか。
- Shall we all think about the idea of “ecotourism”, based on the global standards, which connects people, vitalizes communities and conserves nature?

教育セッション一覧表

6月5日(火) 10:10~11:40

講師紹介

①プロフィール

②内容

C

「ブランドと広告」 千夜一夜



やまかわ まさあき
山川 雅哲 氏

①慶応義塾大学経済学部卒業。電通入社後35年間勤務し、その間経済学博士（名古屋大学）を取得。趣味は散歩・読書・ゴルフなど。好きな言葉は「Stay hungry stay foolish」（Steve Jobs）

現在は九州産業大学商学部教授を経て椋山女学園大学文化情報学部教授。

②洋の東西を問わず、ブランドは知的財産の一つとして現代社会を解きほぐす鍵の一つと言えるでしょう。ブランドと広告は切っても切れない関係です。

価値転載器としての広告と価値増幅器としてのブランドについてその概要を歴史的に探り、話題になったブランド関連の広告や社会現象を一つ一つ観察してゆくことで、当時の世相をご一緒に探ってみましょう。「価値転載器」は造語です。「転載器」とは電車などの軌道を変える際に使われた機械で鉄道用語です。即ち「商品価値を車両に例えれば広告という転載機によって、そこまで生産者視点のレールで運ばれてきた商品価値を消費者（生活者）視点のレールに換えることを意味します。

単なる経験談の披露ではなく、わかりやすい理論的背景の解説による学びと楽しさを共有しましょう。ブランドと広告の秘められた世界も紐解きましょう。

D

「YUBA メソッド」 ノドの筋肉を鍛えて 効率よく声の悩みを解決!



ゆうば とおる
弓場 徹 氏

①三重大学教授、声楽家・発声研究家、東京藝術大学卒。理化学研究所（2015-）・東京医療センター（2013-15）・東京大学医学部（2002-8）の客員研究員、コロンビア大学客員教授（2001）

喉の発声筋の制御を中心とする「YUBAメソッド」を確立。紅白出場歌手等の指導、世界初の科学的な音痴矯正法の開発成功、研究成果は外務省から世界110数ヶ国に発信。

②「ノドが疲れる」「声が通らない」「滑舌がよくない」「発音が不明瞭」など様々な問題の解決に向けて、声を出しながら楽しく、実践的に行います。「YUBAメソッド」とは、発声機能解剖生理学を基に、ノドの中の筋肉を効率よくコントロールする発声の訓練方法を体系化したものです。

しゃべるときに使うノドの筋肉は、歌う時に使う筋肉とほぼ同じですが、歌う時の方がより筋肉の負荷が高くなります。しゃべる時に比べ歌う時には、より広い音域を使うからです。この時に重要な役割を担っている、ノドの中にある輪状甲状筋りんじょうこうじょうきんという筋肉を鍛えることで、声の改善に多くの効果が得られます。

女性の場合、更年期に女性ホルモン（エストロゲン）が低下すると、声帯が浮腫状態になり、輪状甲状筋の働きも鈍くなってきます。そのため、声は少しずつ低くなっていきます。緩んだギターゆるんだギターの弦を引っ張ると良い音が鳴るように、「YUBAメソッド」によるボイストレーニングで、この輪状甲状筋を鍛え、張りのある声にしましょう。

教育セッション一覧表

6月5日(火) 10:10~11:40

会員による教育セッション

①プロフィール

②内容

<p>E</p> <p>「スマホを使って 自己評価」</p>  <p>横浜クラブ 斉木 ゆかり</p>	<p>①会員歴15年、東海大学教授。甲府で月一回 NPO「みんなのインプロ」を主宰。</p> <p>②皆さんはスピーチの練習をする時、何に気をつけていらっしゃいますか。構成、声、壇上の態度でしょうか。では練習した後、思い通りにできたか、自己評価をしていますか？ 自己評価は、新たな努力への意欲と方向づけを見出す上で非常に大切です。とは言っても、自分で確認するのは難しいものです。そこで簡単に確認し、自己評価できる方法を紹介し、それは、皆さんの身近にあるもの、スマホの活用です。このワークショップでは、スマホを使って自己のパフォーマンスを客観的に見つめ直し、次のスピーチが劇的に改善することを証明します。参加ご希望の方はスマホと、できればイヤホンもお持ちください。アイパッドなどのタブレットでもご参加いただけます。スマホを使った自己評価を、このワークショップで是非ご体験ください。</p>
<p>F</p> <p>「コーピング」 ストレス社会を 生き抜くために</p>  <p>錦クラブ 鈴木 正子</p>	<p>①会員歴30年。カウンスル No.1 会計等。趣味はガーデニング</p> <p>②「コーピング」は臨床心理の世界で主流になっている認知行動療法から生まれた最新のストレス解消法です。人は生きている限り、ストレスから逃れることはできません。ストレスは、時には人を殺してしまうほど恐ろしいものにもなります。複雑な現代社会を生き抜くために、ストレスに対処するオーダーメイドの手段を持ってみませんか？ 「ライフイベント・ストレスチェック」であなたのストレスを数値化し、ストレスの本質を探究し、ストレスが脳に物理的な影響を与える様子を観察します。そして、笑いや運動、瞑想と並んで、きわめて効果的なストレス解消法「コーピング」を実践します。どんな時、何をすれば、あなたは気分が良くなりますか？ あなたは気持ちを明るくするスキルをどれだけ持っていますか？</p>
<p>G</p> <p>シーン・ボイスガイド 「バリアフリー映画を知る」 ~ひとりでも多くの人に映画を聴かせたい~</p>  <p>刈谷クラブ 牧野 典子</p>	<p>①会員歴26年。クラブチャーターメンバー。 カウンスル No.1 第一副会長など。シーンボイスガイド歴10年。</p> <p>②シーン・ボイスガイドの体験 視覚障害者や高齢者が映画を楽しんでいただけるよう、映画の流れにそって必要な情報を生の音声で伝えるガイドです。障碍を超えて一人でも多くの人に映画を聴かせたいと取り組むガイドは、泣いたり笑ったりの感動を共有するばかりでなく、相手を思いやる優しさにも通じるものがあります。求められているものは何なのか、常に相手の立場にたって物事を見たり考えたりすることは忘れてならない大切なことだと思います。 シーン・ボイスガイドを体験し見えない何かを掴んでいただけたら、そして日頃の生活に役に立てていただけたらと思います。</p>

第36回 ITC-J 年次大会申込要領

- ★ 各クラブで、登録担当者を決めてください。(エクセルのできる方)
- ★ 本誌綴じ込みの「申込書」(茶色の紙)に記入し、クラブの登録担当者に提出してください。

【ITC-J 年次大会申込書について】

1. 役職名は次の役職のみ記入してください。
ITC-J 役員・ITC-J 常任委員長・ITC-J 特別委員長・元日本リージョン会長
各レベル会長・クラブの大会派遣員および派遣員代理
2. CMT のみ出席の会員は、登録費は不要です。欠席協力金をお支払いください。
3. ゲストの方で、晩餐会のみ出席の場合、登録費は不要です。
4. 欠席者(賜暇会員を含む)は、欠席協力金をお願いします。
5. 重複会員は ITC-J 会費を納めているクラブで申込・登録をしてください。
6. 教育セッションは第1希望、第2希望を必ずご記入ください。
会場等の都合でご希望に添えない場合もあります。
7. 昼食は4日は和食、5日は洋食です。
8. 登録費・食費・晩餐会費・欠席協力金は、クラブでまとめて、大会会計に送金してください。

【ホテル宿泊申込書について】

名古屋東急ホテル 〒460-0008 名古屋市中区栄4-6-8 TEL 052-251-5922 (宿泊予約直通番号)
FAX 052-251-2422

1. 右ページ「ホテル宿泊申込書」にご希望の【部屋タイプ】を部屋記号でご記入ください。
できるだけ、ツイン、トリプルでのお申込みをお願いいたします。
2. 4月25日までの変更はクラブの登録担当者へ、4月26日以降はホテルに直接連絡してください。
3. 宿泊費は、チェックアウト時に各自でホテルにお支払いください。
4. チェックイン15:00、チェックアウト12:00です。
5. キャンセル料は、宿泊日の7日前まで20%、前日100%、当日100%、不泊100%です。
キャンセルされた方は、上記キャンセル料を各自の責任においてホテルにお支払いください。

部屋タイプ	シングル	ツイン (1名使用)	ツイン (2名)	ツイン (3名)
部屋記号	S1	T1	T2	T3
料金 (1名分)	13,000円	18,000円	11,000円	9,000円

* 1泊朝食付、税・サ込

【登録・食事・宿泊の申込み】 一次締切 2018年3月26日(月)
最終締切 2018年4月25日(水)

【登録費・食費等の送金期間】 2018年4月26日(木)～5月2日(水)

※ 4月26日以降の変更については取消のみ受付けますが、返金できません。

登録委員長 落合友紀子(栄) 宿泊委員長 牧野典子(刈谷)

A. ITC-J 年次大会 申込書 (会員用)

カウンスルNo. クラブ	会員名		役職名	
	月 日	○印	単価 (円)	申込金額 (円)
出席日及び登録費	6月4日 (月)		9,000	
	6月5日 (火)			
昼 食 費	6月4日 (月)		3,500	
	6月5日 (火)		3,500	
晩 餐 会 費	6月4日 (月)		11,000	
欠 席 協 力 金			2,000	
申 込 合 計 金 額 (円)				
教育セッション	6月5日 (火)	第1希望 ()	第2希望 ()	

キリトリ

B. ITC-J 年次大会 申込書 (ゲスト用)

カウンスルNo. クラブ	紹介者		(フリガナ) ゲスト名	
	月 日	○印	単価 (円)	申込金額 (円)
出席日及び登録費	6月4日 (月)		2,000	
	6月5日 (火)			
昼 食 費	6月4日 (月)		3,500	
	6月5日 (火)		3,500	
晩 餐 会 費	6月4日 (月)		11,000	
申 込 合 計 金 額 (円)				
教育セッション	6月5日 (火)	第1希望 ()	第2希望 ()	

キリトリ

C. ホテル宿泊 申込書

カウンスルNo. クラブ	会員名		役職名	
宿泊希望日	部屋タイプ	同室者名 (クラブ名)	同室者名 (クラブ名)	
6月3日 (日)		()	()	
6月4日 (月)		()	()	
6月5日 (火)		()	()	
		()	()	

- * 部屋タイプ欄には、左ページ「大会申込要領」記載の記号 S1, T1, T2, T3 をご記入ください。
- * ゲストの方は (クラブ名) の欄に (ゲスト) と記入し、お名前にフリガナを付けてください。
- * 上記以外の日に宿泊を希望される方は空欄に宿泊希望日と部屋タイプをご記入ください。

第36回 ITC-J 年次大会

A. ITC-J 年次大会申込書（会員用）

キリトリ

第36回 ITC-J 年次大会

B. ITC-J 年次大会申込書（ゲスト用）

キリトリ

第36回 ITC-J 年次大会

C. ホテル 宿泊 申込書

キリトリ

第36回 ITC-J 年次大会 準備委員会名簿

大会コーディネーター 伊藤 容子 (東山)

コ・コーディネーター 岡島 詠子 (錦)

委員会	委員長	委 員		
大会会計	太田 雅子 (浜松)	横井 啓子 (名城)		
登録	落合友紀子 (栄)	渡邊 春代 (岡崎)		
食事	土居 陽子 (名古屋)	伊藤 匡子 (名古屋)	木村 洋子 (名古屋)	佐伯 圭子 (葵)
		加藤 正恵 (栄)	松本 紀子 (東山)	上田みち子 (東山)
宿泊	牧野 典子 (刈谷)	鶴飼 倫子 (刈谷)		
会場・備品	寺本 容子 (錦)	石川 好子 (錦)	横地田鶴子 (栄)	高橋 由梨 (名城)
		野村眞智子 (刈谷)	橋 典子 (刈谷)	柴田 淑子 (岡崎)
デコレーション	浅田久美子 (錦)	日比野広子 (錦)	堀内 廸子 (錦)	異相 由美 (錦)
		村井さおり (錦)	宇都木良美 (錦)	
キット 名札・リボン	服部美美子 (東山)	中島美恵子 (名城)	足立 徳子 (東山)	青木 恭子 (東山)
		石田 章子 (東山)	近藤由美子 (東山)	小笠原生子 (東山)
		田嶋 邦子 (東山)	棚橋千珠子 (東山)	加藤佳久子 (岡崎)
儀典	中村 千織 (葵)	山本 弘子 (錦)	河津 百合 (栄)	加藤 裕子 (名城)
		荒川 昭子 (東山)	松原 裕子 (東山)	鈴木三枝子 (浜松)
		天野 祥子 (岡崎)	苅谷 享子 (岡崎)	新実 初子 (岡崎)
VIP接待	奥田小夜子 (錦)	南谷みどり (葵)	田口 邦子 (錦)	原 太千子 (東山)
		黒柳美紀子 (千種)		
ホスピタリティ	戸松 導世 (名城)	後藤 陽子 (名城)	近藤奈おみ (名城)	梶浦 明美 (東山)
		亀山 美里 (東山)	三宅 敏子 (東山)	小瀬 幸子 (飛騨高山)
		虎井美侑季 (飛騨高山)	谷澤 昌代 (岡崎)	
インフォメーション	奥村 啓子 (千種)	後藤由美子 (名古屋)	武津 冷子 (千種)	和爾 玲子 (千種)
観光	林 愛子 (名城)	西脇 博子 (栄)	岡田 道子 (栄)	浅野理恵子 (名城)
		早川 桂古 (名城)	三宅ゆかり (名城)	
広報	豊島 知子 (名古屋)	加藤 玲子 (名古屋)	石井 弘子 (錦)	
ペー ジ	讃井 良子 (岡崎)	立松 尚子 (名古屋)	大坪 千陽 (名城)	轟 淑子 (名城)
		渡辺 貴子 (東山)	河渡 久枝 (飛騨高山)	桑谷 弘子 (飛騨高山)
		杉浦眞佐子 (刈谷)	加藤 節子 (岡崎)	岡田恵理子 (岡崎)
受付	内田 博子 (飛騨高山)	竹内 宏子 (名古屋)	塚本 博子 (葵)	片桐 寛子 (錦)
		鈴木 正子 (錦)	足立 眞子 (東山)	古橋 直子 (飛騨高山)
		加藤多寿子 (飛騨高山)	小森 映子 (飛騨高山)	向井 節子 (飛騨高山)
		阪下 恵子 (飛騨高山)	清水 洋子 (飛騨高山)	津田 光子 (飛騨高山)
		浅川久美子 (刈谷)	塚本しが子 (刈谷)	
エンターテインメント	濱田 寛子 (栄)	古屋 弓子 (錦)	新城久美子 (名城)	

ギョツと詰まってる

名古屋観光・夕食のご案内

日時：6月3日(日) (A・Bプラン共通)

プランA-1 【名古屋城・か茂免^{もめ}】コース (30名限定)

参加費：18,500円 (食事・観覧料・お茶会・送迎バス代含む)

「尾張名古屋は城でもつ」といわれる名古屋城。復元された本丸御殿を見学し、古田織部意匠の茶室(猿面望嶽茶席)でITC-J会員だけの特別茶会を催します。お気軽に平服でお楽しみください。

夕食は名古屋城から続く“文化のみち”沿いに千坪の敷地を有する格式ある料亭「か茂免」で会席料理をご用意しました。*送迎はチャーターバス利用

- 13:00 名古屋東急ホテル出発 (10分前までに1階ロビー「ITC-J観光デスク」前に集合)
- 13:20 名古屋城着 本丸御殿・お茶会、金シャチ横丁自由散策
- 17:30 集合～「か茂免」へご案内 (18:00食事開始)
- 20:15 ホテル到着



猿面望嶽茶席

プランA-2 【か茂免】お食事コース (A-1コースを優先 若干名)

参加費：15,000円 (食事・帰りのバス代含む)

- 18:00 食事開始 (各自現地集合)
- 20:15 ホテル到着



か茂免

名古屋市東区白壁4-85
TEL 052-931-8506



プランB-1 【有松絞まつり・あつた蓬萊軒本店】コース (25名)

参加費：7,500円 (食事・送迎バス代含む)

旧東海道有松絞で栄えた美しい町並みは今も江戸の風情が息づいており、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されています。6月3日は年に一度のお祭り! 絞の実演・体験・展示・パレード・山車やからくり人形など盛りだくさんのイベントやショッピングをお楽しみください。

夕食は名店「あつた蓬萊軒」本店で名古屋名物「鰻のひつまぶし」<ITC-J特別メニュー>をご用意しました。*送迎はチャーターバス利用

- 13:00 名古屋東急ホテル出発 (10分前までに1階ロビー「ITC-J観光デスク」前に集合)
- 13:40 有松到着 お祭り会場を自由散策
- 17:00 集合～「あつた蓬萊軒本店」へご案内 (18:00食事開始)
- 19:45 ホテル到着



プランB-2 【あつた蓬萊軒本店】のお食事コース (25名)

参加費：6,000円 (食事・帰りのバス代含む)

- 18:00 食事開始 (各自現地集合)
- 19:45 ホテル到着



あつた蓬萊軒本店

名古屋市熱田区神戸町503
TEL 052-671-8686

名古屋観光・夕食の申し込みについて

- * 3月15日～3月31日まで各自メールでお申し込みください。(定員に達し次第締め切ります)
- * 申し込み先：観光委員会委員 早川桂古 winlife1203@yahoo.co.jp
カウンスル・クラブ・氏名・携帯電話番号を明記してください。
- * 参加費の振込先は締め切り後、ご連絡致します。
- * キャンセル・変更については5月21日(月)までをお願い致します。それ以降の返金は出来ません。
- * お問い合わせ先：観光委員会委員長 林愛子 aichan8@na.commufa.jp

名古屋からのエクスカージョンご紹介

《観光デスクにパンフレットや情報を沢山取り揃えております。お気軽にお立ち寄り下さい》

岡崎へ

「名鉄電車」「JR」で30分～45分

徳川家康生誕の地
岡崎城
大樹寺
八丁味噌



岡崎城



大樹寺



八丁味噌蔵

犬山へ

「名鉄電車」で30分～45分

国宝犬山城の隣、
有楽苑内にある
国宝茶室如庵



国宝 犬山城



国宝茶室 如庵



鵜飼 (昼鵜飼もあります)

飛騨高山へ

JR「ワイドビューひだ」で2時間半

世界遺産の白川郷・五箇山合掌造り集落
杉原千畝記念館
日本3名泉、下呂温泉
高山の朝市



五箇山合掌造り集落



杉原千畝記念館



下呂温泉

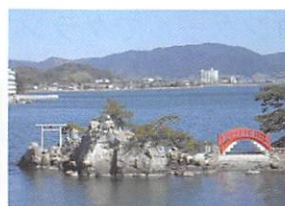
浜松へ

「新幹線」で30分～50分

井伊直虎ゆかりの龍潭寺
浜名湖
ガーデンパーク



龍潭寺



浜名湖



ガーデンパーク

晩餐会エンターテインメントのご案内

何が出るかお楽しみ!!

びっくり箱コンサート



出演者

プロデュースから演奏までオールマイティクラリネット奏者
十亀正司 Masashi Togame

若きサクソフォン奏者 中嶋紗也 Saya Nakajima

数々のコンクールでグランプリ受賞のピアニスト
渚智佳 Chika Nagisa

会合・例会プログラム紹介

「ITC を真剣に考える」



カウンスル No.3 第一副会長
岩元 智子

今回の国際解散の報を受け、カウンスル No.3 の役員会がまず考えた事は、早急に会員の意見をお聞きして ITC 役員会に報告し、取り上げていただく事でした。その為に前もって海老原会長より各クラブでディスカッションし会合に意見を持ってきて頂くよう要請し、プログラム・教育委員会の賛同を得て第 1 回会合のプログラムを「ITC を真剣に考える」といたしました。

2017年10月30日会員ほかゲストを含め100名の出席者の元、シンポジウムを行いました。3名のパネリストにそれぞれのお立場から、これからの ITC に向けてのお考えをお聞きし、その後3名でディスカッション、そしてフロアからの質疑応答と各テーブルでのディスカッションをしました。最後に13の各テーブルリーダーに発表していただくという手順で行いました。

コーディネーター 中村由紀子会員

- 杉谷和代会員：この変革期において国際との関係を模索している立場
- 西村みつ子 ITC 会長：舵取りを考える立場
- 中島由美子カウンスル議会法規役員：この時期にしかできない変革を考える立場

会員全員が真剣に白熱したディスカッションをして有意義な会合になりました。

後にプログラム・教育委員会で全意見をまとめ、No.3の各クラブ及び ITC 組織検討委員会に報告致しました。今後の改革の参考になれば幸いです。

「歴史に学ぶ」



東京クラブ会長
浅井 正子

今期クラブ会長をお引き受けした途端、ITC 国際の解散という問題が提起され不安な幕開けでした。ITC はアーネスティン・ホワイト女史の理念のもと自己啓発・議事運営・リーダーシップの向上などを目指して参りました。ITC の約80年の歴史に変革が起きたことは過去を振り返り原因を探らなければ先へは進めませんでした。

そんな中、東京クラブは昨期40周年という節目の年を迎えました。ITC の変革の時とも重なり、この機会に一寸立ち止まりクラブの歴史を振り返りながらこのまま進んで行っても良いのか、今後どのように活動するのが望ましいのか、どのようにしたら会員の増加が期待できるのかなどを考えました。過去から引き継がれてきた良いところは継承し、また改善すべき処は積極的に改善して未来へ進んで行きたいの思いから年間テーマを「歴史に学ぶ」としました。

9月には「国際とのリンクについて」検討する機会を持ちました。また10月には「東京クラブのこれからを考える」というプログラムを組んで今後のクラブの在り方を検討し会員の声をまとめた意見集を作りました。現在はこれまで積極的ではなかった新入会員の導入に向け少しずつ動き出しています。

この様な活動の結果、不安に思っていた ITC の未来が少し見えた気がします。歴史を途切れさせることなく会員の前向きな努力で組織が発展することを願います。

第36期 カウンシル会長会報告

司会 ITC-J 会長 西村 みつ子

2017年12月5日（火）大阪においてカウンシル会長会を開催しました。

出席者はカウンシル会長・ITC-J 役員・任命役員の合計16名です。約3時間に亘って自カウンシルの問題点、改善点、現状や目標など活発な報告と意見交換が行われました。

カウンシル No.1

大原 慶子 会長



今期の目標①ITC-J と共に新組織構築②話し合うこと、聴き合うこと、そこから何をすくい取るか考えること③年次大会の大成功。目標の柱は会員の負担を軽減し学びの質を落とさないこと。第1回会合とクラブ会長会では常任委員会やカウンシル会報の在り方等を意見交換し全会員に会報に関するアンケートを依頼した。新会則草案は12月にクラブでさらに1月開催の教育研修会で検討し新会則の準備を整えている。明るい光射す No.1 に向かって会員一同で着々と歩みを進めている。

カウンシル No.2

柚本 加代子 会長

第1回会合でクラブへの負担を少なくするという目的で「カウンシル会合の回数を2回とする」という修正案が可決された。そのために今後組織の改革や会合内容の精査など検討事項が増えると思われる。無所属クラブの存在の是非が気になりであったが今回西村会長より「無所属クラブは今後認めない」と明言されたので活動がしやすくなった。

「新たな視点で！」のテーマのもとまず取り組んだのは News Letter の印刷費用の削減であった。編集関係者の努力でクラブへ手づくりの冊子が配信されて良い評価を頂きスムーズなスタートができた。今後改良を重ねてゆきたいと思っている。また Web にも掲載している。

カウンシル No.3

海老原 あかね 会長

期首の目標である、予算の割合を高く占めるニューズレターの印刷費を削減するため、インターネットの業者を利用すること、ウェブサイトのリニューアル、そして Facebook の立上げは委員会の絶大なる努力のおかげで達成することが出来た。

次は資格認証をバージョンアップした形のもを立上げ、現会員も満足できるキャリアアップを目指すような形のもを構築して、新会員から幅広い年代層の方々に興味を持って頂けたらと考えている。ITC-J レベルでは資格認証を廃止すると決定されたので、カウンシルレベルでスタートできないかと・・・まだ未来の資格認証の形に希望を持っている。

カウンシル No.4

成定 正子 会長

No.4 は岡山から九州までクラブが広範囲に存在し会員の時間的経済的な負担が大きい中、カウンシル会合を他クラブ会員との交流の場として楽しみに参加する会員が多い。

第1回は30周年記念会合で船上での祝宴を行い共に集える喜びと会員の意識向上に繋がった。第2回は世代を超えた交流として会長経験者と若い会員とのディスカッションを計画している。

高齢化・会員減少などの諸問題が負の連鎖にならないように「ITC-J が好きで ITC-J で学びたい」という気持ちと目的意識を共有したい。ITC-J の基本はクラブの活動にあるので、無所属会員3名の今後の活動拠点についてより良い道を模索していきたい。

カウンスル No.5

松本 敬 会長

今期178名の会員を有し優秀で元気に「輝いている」会員が多いのが嬉しい現状。各クラブが非常に前向きで少人数クラブでも疲弊しているようには感じられない。

しかし仕事や事情をかかえた会員が増え今までのように ITC-J に十分な時間を割くことは許されず簡素化を目指すことにより負担を減らす努力に務めている。

カウンスル会合を2回にという要望があったが今は ITC-J の土台となる期だからこそ会合を縮小せずしっかりと活動しクラブとの連携を密にしたいという思いで今期は3回開催することになった。ITC-J 組織そのものが縮小してしまわないよう、これからも「人と人を繋ぐための言葉を丁寧に編む」ことを心掛け会員全体で楽しく学んでいきたいと思う。



カウンスル No.6

竹田 清子 会長

No.6 は55名という少人数カウンスルだが、会員がパワフル、協力的、団結力がある。そのことはカウンスル会合で理解できる。出席率は80%、ホストクラブは2クラブ約10名で完璧な準備ができた。やればできる、その力を持っているカウンスルだが、しかし今、No.6 は分岐点に立っている。少人数のため将来の運営が懸念され、ITC-J 会長から No.6 の存続について各クラブに決断を問われ、会長会などを開きクラブ間の意見交換をしたりして、各クラブは真剣に考えている。存続を願っている会員が多いことは確かで、会員が納得した結果を出すことが大切だと思う。No.6 存続となり、一新して再出発できることを願っている。

カウンスル No.7

住田 実寧子 会長

大幅な経費の削減ができた。当カウンスルニュースレターは、発行3回とも WEB 掲載とし、HP では、会合プログラムの掲載、各種フォームも取り出せるようにした。会員用と外部用の2種を準備し外部用には決算書、予算書等の掲載はなしとした。プログラムは会合前に CLO を通じて全クラブ宛配信することとし、その周知を計った。各クラブ独自のプログラムの表紙やファイルの作成をするなどして対処して理解、協力を得た。

ITC 国際からの資料が使用不能となるので、それらを DVD に納めて、全所属クラブへ配布する準備を進めている。

カウンスル No.8

八尾 和子 会長

カウンスル No.8 の最大の問題点は他カウンスルとも共通するが会員減少と高齢化による活動力の低下である。何と言っても国際解散を受けての3英語クラブの離脱による40人近くの会員の減少は、カウンスル始まって以来の大きな打撃だった。

指名委員会は来期の役員選出に苦勞しているが、今後80人の会員で活動を続けていくには、組織のさらなる簡素化と、各役職の任務の軽減が必須となってくる。会員はたとえ少人数であってもクラブの活動は楽しんでいるので、カウンスル活動の負担を軽減して、進んで参加できるようにしていくのが最大の課題である。

ITC-J 第36期 会合・例会報告

カウンスル No.4 30周年記念会合

カウンスル No.2 会長 柚本 加代子



「クルーズ船で記念会合？なんて素晴らしい企画なんでしょう！」それがお誘いを受けた時の第一声でした。カウンスル No.4 は瀬戸内に臨むクラブで構成されているためこのプランが生まれたとか。

快晴の10月27日（金）広島港からクルーズ船「銀河」に乗船したのは No.4 成定正子会長はじめ会員100名とゲスト20名の120名。明るく穏やかな瀬戸内の海をナポリに見立ててのカンツォーネの熱唱に酔いしれ、色づき始めた木々を背にした宮島厳島神社の朱の大鳥居は殊の外美しくカメラのシャッター音が絶えることはありませんでした。

講演「瀬戸内の歴史を識る」はこの地域が古今東西いかに日本の歴史にとって重要な役割を果たしてきたかを再認識し、歴史好きな私にとっては至福の時間でした。

今回の広島行き、もう一つ目的がありました。それは帰路広島平和記念資料館へ立ち寄りたいたいとの思いでした。車窓から原爆ドームに手を合わせ、資料館では多くの外国人入館者に混じり世界平和への思いを一層強くし充実した一日となりました。

カウンスル No.7 30周年記念会合

カウンスル No.4 会計 小倉 千真理



カウンスル No.7 30周年記念会合が住田実寧子会長の元、11月1日ホテルニューオータニ鳥取で開催された。西村みつ子 ITC 第36期会長が祝辞、加藤正枝 ITC 第36期次期会長が ITC インフォメーションを行った。

午後から記念プログラムが始まり、鳥取県知事 平井伸治様の「Small is powerful」と題した講演が行われた。知事は（カニはいても金がない）鳥取県の魅力をユーモアを交えながら簡潔に話された。鳥取県はストレスオフのほっこり県で人と人の絆を大事にしていると県の魅力を語られた。続いて会員お二人のスピーチがあり、その後映像でふりかえる「学びの継承」があった。カウンスル No.7 第25期から第29期の会長が順次会長をされた期の3回の会合について話された。そして突然大きな音と共に天井にあったくす玉が割れ風船が舞い散り、それを合図に声楽コンサートが始まった。素敵な歌声に会場参加者は酔いしれ、全員大満足のうちに会合が閉会した。

岡山あくらクラブチャリティー茶会

福山クラブ会長 梅谷 由加里



11月8日、岡山あくらクラブのチャリティー茶会に参加させて頂きました。会場は岡山城の西側、内堀の前にある林原美術館。岡山城の二の丸対面所跡に建つ武家屋敷長屋門の造りは存在感がありました。中に入ると岡山あくらクラブ福井佳子会長と会員の皆様の美しい着物姿に目を奪われました。

お手前は素晴らしく復興を願って被災地から取り寄せられたお茶菓子も絶品でした。

会場に流れている音楽は会員による八雲琴（龍の形に似た珍しい楽器）の生演奏でその音色は穏やかで気持ちが安らぎました。

林原美術館で「金重陶陽・没落50年展」が同時開催されており拝観することが出来ました。初期の細工物から茶陶や食器類など代表作約90点が一堂に展示されギャラリトークを楽しめました。

社会貢献に目を向ける活動として取り組まれている岡山あくらクラブの皆様のキラキラした表情がとても印象的でした。

芦屋クラブ40周年記念例会

カウンスル No.1 会長 大原 慶子



頂いた冊子の1ページ目に40年間の「会長テーマ」が掲載されていて第1期「ほほえみ」から第40期「温故展新」までのそれぞれのテーマに目を落としました。時が流れ価値観や世相が移ろう中で決して変わらない1本の太い柱があることに気づきました。ホスピタリティーを大切にコミュニケーション能力を学び高めようとする太い柱です。

11月22日中島由美子会長の掲げる記念例会テーマは「ルビーの輝き」、ルビーの持つ意味は「情熱勇氣」だとか。市川道子チャーター会員の情熱と勇氣があったからこそ、またそれを受け継いだ会員が共に活動してきたからこそ、この日があるのだと確信した。

高殿 円氏による講演で「出会いの不思議さと必然性」を伺いITCとの出会いとご縁がこの寄稿に繋がっている不思議さに驚きました。そしてエンターテインメントの箏と尺八の音にうっとりしながら今年40歳なる長女を持つ私自身の人生を振り返ることのできた楽しく華やかで有意義な一日でした。

倉吉クラブ30周年記念例会

カウンスル No.7 会長 住田 実寧子



2017年12月12日（火）西村みつ子 ITC-J 会長他多方からのゲストなど総数105名の出席の元、華やかで歴史を感じる例会が開催された。また吉田知子会長の年間テーマ「収穫」例会テーマ「豊かな実り」の言葉を実感できる例会でもあった。チャーターから30年間の長きにわたり30名の会員数を常に維持できたことは、この時代にあつての偉業であり会員の溢れるばかりの相互理解が大いに功を奏したものと思われた。メインプログラムは京都クラブ大野三恵子様「なりたい自分になる」の講演。エンターテインメントのチェロ演奏はプログラムに花を添えた。

5人のチャーターメンバー紹介では、それぞれのスピーチに共感を覚えるものであった。続く「切手のないおくりもの」の替え歌は会場が一体となり感激の時間となった。次の世代が確実に育っていて実り多い収穫と未来への希望の感じられる素晴らしい記念例会であった。

阿波クラブ20周年記念特別例会

カウンスル No.3 会長 海老原 あかね



1月19日（金）阿波クラブ20周年記念特別例会に参加しました。オープニングは娯茶平調と呼ばれる「正調阿波踊り」に始まり参加者約150名と阿波クラブ会員の満面の微笑みに包まれる中、平田真弓会長がギャベルを打ち開会されました。式典は「楽しむ20周年」を予感させるスタートでした。祝宴に入り吟味されたお料理に舌鼓を打っていると阿波踊りが始まりました。段々大きな輪になり「踊らにゃそんそん」のプ

ロログで大盛り上がりです。プログラム的一幕「阿波クラブ物語」では会員の皆さまが20周年をコーラスと語りと映像で綴った阿波劇場に拍手喝采！その後は三枝輝行氏による講演「痛快人生」、そして熊谷陽介氏の「バリトンコンサート」で熱気を沈め最後は「今日の話」と、まるで「テーマパーク」のようで誰もがどこかにヒットし主催者側も楽しくその思いは参加したものに伝わるという1日居ても飽きない「阿波クラブテーマパーク」を体験できました。ITC から ITC-J に名前が変わった今、この阿波クラブの20周年特別例会は新しい「かたち」として各クラブに発信されること間違いありません。

〈 カウンシル No.1 東山クラブ 棚橋 千珠子さん 〉

推薦者 東山クラブ会長 服部 美美子



1999年8月夫婦間生体腎移植のドナーとなる。2003年ドナーの立場からその必要性大と感じ日本で最初の「生体腎移植ドナーの会」を立ち上げ、ボランティア活動を始め代表となる。その年、年次大会「第1回生体腎移植ドナーの会」を開始（15名でスタート）会を重ねるごとに参加者は増えここ数年は140名から150名の参加を迎える。北海道から九州までの他府県でのドナーの参加をも得ている。2008年より月1回の「ドナーの広場」を始めすでに115回を迎え全国の移植前後のドナーに寄り添う。2011年から「ドナーの作品展」開催、すでに7回開催を迎えた。腎移植関係の本への執筆、2009年より毎年移植学会での発表、医療関係者・製薬会社・透析施設・患者会・移植医療啓発の為の各地での講演、ロータリーの卓話・ラジオ対談と講演活動、他医療施設でのドナーの会立ち上げの手伝い、2007年からNPO法人日本移植未来プロジェクトが立ち上げられ理事を務める。この間「ドナーになろうと思うあなたへ」・「絆」・「絆Ⅱ」を企画編集者として発刊、現在は「絆Ⅲ」の発刊準備中である。

ドナーの個別相談、他施設のコーディネーターからの相談にも応じる。



〈 カウンシル No.7 鳥取クラブ 柴田 詩緒さん 〉

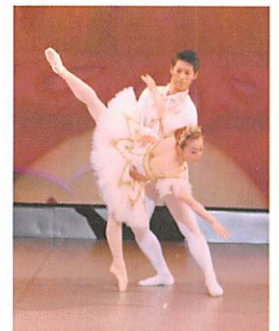
推薦者 鳥取クラブ会長 山岡 和子



バレエ・スクール Shio Ikezawa 主宰。3歳より母・池澤正子のもとクラシック・バレエを始める。東京女子体育大学卒業後、ドイツ・ライプチヒ国立芸術大学聴講。ハーナウ市での国際演劇ゼミナールや公演に参加。合同バレエ発表会、中四国文化の集い、国民文化祭等幅広く活躍している。幼児には楽しく基礎を学ぶ工夫をし、大人には美しく正しい姿勢を身に付けるバレエの魅力や表現する喜びを率先して伝え、多くの若い生徒を育てながら地方におけるクラシック・バレエの普及に努力している。

バレエ発表会に備え指導は勿論、ダンサーとしての体調管理も徹底している。

ITC-J に対する姿勢は研究熱心で、毎例会後に自己評価をし他の会員の評価を受け入れて次回の例会に生かしている。クラブでは最年少（ITC-J 歴は約4年）だが教師やバレエ指導者としてのキャリアが長く、豊富なアイデアを持ち委員会活動にも取り組み「とにかくやってみよう！」と明るく積極的である。バレエにも ITC-J にも子育てにも常に地道な努力を惜しまない「白鳥」のような会員である。



ITC-J ウェブサイト（ホームページ）会員ログインの方法

① <http://www.itcjr.jp/> をクリック

② 会員専用ページ ログイン

ユーザー ID 継続会員は旧会員番号

会員はウェブサイト委員会から設定された番号

パスワード 会員の姓のローマ字小文字（例 nihon）

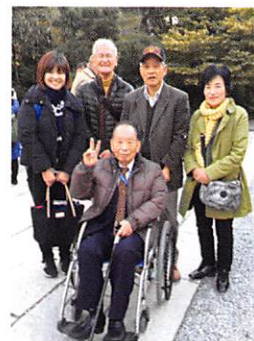
この時パスワード記憶の欄をチェックしておく次回からすぐログインできます。

〈 カウンシル No.8 葦崎クラブ 櫻井 をさみさん 〉

推薦者 葦崎クラブ会長 山口 久美子



2017年世界文化遺産に登録された忍野八海おしの はっかいの案内をする「忍野ふるさと案内人」の運営を13年行っています。元々は櫻井さんのお父様が立ち上げた会で、「ほぼ20年前、友人たちが研修で忍野に来た折に父に『忍野八海巡り』の案内をしてもらったところ八つの池の歴史的な由来、地形、日本一の富士山と八海の関係などを聞き自分が住んでいる村の魅力を何も知らずにいたことが恥ずかしくなった。この頃の私は子どもの頃から水の湧く『池』というくらい意識しか持っていなかった。父もこの頃から、あとの案内を託す人のことを考え始めていて、私も少しでも八海や地域の事を学んで知るべきと思い、それから改めて講座・講演で学び家では父が長年調べて来た忍野村の様々なことを教えてもらい『父のあとをつなぐ活動をしよう』と決意して現在にいたっている。」とお父様の後継者となった思いを語ってくださいました。他にも忍野村の文化向上を図るために「忍野村文化振興協会」活動23年「忍野村男女共同推進委員会」21年「忍野村村議会議員2期」とアクティブに活動されています。



〈 カウンシル No.8 横浜クラブ 橋爪 明子さん 〉

推薦者 カウンシル No.8 会長 八尾 和子



睡眠インストラクターとして10年近く、睡眠の知識を一般に広める活動を行ってきた後、現在は一般社団法人日本眠育普及協会の代表橋爪あきとして講演、執筆やメディアなどでの広報に励んでいます。

「仕事を始めた動機は自分が15歳から55歳まで睡眠障害だったことです。しかし当時は、世界的に睡眠学が確立されておらず、睡眠医療は皆無でした。そのため、日々の体調不良の原因が睡眠にあることを知らぬまま、実に40年間もパフォーマンスの低い自分を責め続けていました。50代に入り『そんな人生を何とかしたい』と思った時、折よく睡眠医学が知られ始め日本が世界で最悪の睡眠事情を抱えた国であることも知ることができたのです。睡眠学会の諸先生方の下でインストラクターの認定資格をとり、独力で睡眠障害の克服に挑みました。友人を集めて広報活動も開始した当時は睡眠を語るなんて変わった人だと言われたほど世間の関心は低かったのですが、今は睡眠の大切さを認識する人が大変多くなりました。ITCで学んだスピーチの技術が講演では大変役立っています。またコミュニケーション技術やリーダーシップの取り方も協会を支える大きな力になっています。」

「睡眠負債」が流行語大賞にノミネートされる社会情勢の中、小・中学校、企業等での公演で今後のご活躍がますます期待されています。



編集後記

- ☆組織の名称の変更に伴い会報2号の名前が変わりました。
- ☆表紙の木は成長しています。1号と比較してお楽しみください。
- ☆ページの都合で寄稿者には原稿の変更をお願いするハプニングがありました。
- ☆上野タイプ印刷(株)様には諸々の変更に伴う無理を聞いていただきました。

第36期編集者：村山紀子 (No.4 岡山)

スタッフ：五十嵐起久代 川崎邦子 黒住裕子 (No.4 岡山)

付記：文中の「ITC」という言葉は「旧 ITC 日本リージョン」または「暫定的 ITC」を意味します。

ITC-J 会報 Vol.36/No.2

編集・発行：第36期 ITC-J

印刷：上野タイプ印刷(株)

ITC-J Pledge

ITC-J 宣誓

We, as members of Interactive Training in Communication-Japan, hereby pledge to improve our communication and leadership skills, in order to achieve greater understanding throughout the world.

我々インタラクティブ トレーニング イン コミュニケーション
ジャパンのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニ
ケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

2017-2018

ITC-J 声明文

Mission Statement of ITC-J

ITC-J の使命は、ITC-J の目的とするコミュニケーション技術と
組織運営の技術を習得する機会を会員に提供してリーダーシップ
をそなえた成熟した社会人を養成し社会に貢献することにある。

The mission of ITC-J is to present the members opportunities
for quality training in communication and leadership skills
which are the purposes of Interactive Training in
Communication-Japan and benefit the society by providing
mature individuals.